

ものづくり日本大賞青少年部門

文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官 池守 滋

1. はじめに

「第2回ものづくり日本大賞内閣総理大臣表彰式及び祝賀会」が、平成19年8月10日(金)、総理大臣官邸にて開催され、20件(個人及びチーム)45名が表彰された。そのうち、ものづくり日本大賞「ものづくりの将来を担う高度な技術・技能」分野の「青少年部門」として、静岡県立静岡工業高等学校3年の村松昂紀君が、安倍内閣総理大臣(当時)より表彰を受けた。

また、ものづくり日本大賞「ものづくりの将来を担う高度な技術・技能」分野の「青少年支援部門」として「香川県立三豊工業高等学校」が文部科学大臣賞を受賞した。

2. ものづくり日本大賞について

ものづくり日本大賞とは、我が国の産業・文化を支えてきた「ものづくり」を継承・発展させるため、ものづくりを支える人材の意欲を高め、その存在を広く社会に知らしめることを目的に創設された表彰制度である。文部科学省、厚生労働省、経済産業省及び国土交通省の4省連携により、平成17年に第1回表彰式が行われた。その後2年に1度表彰することになっており、本年度は第2回となる。ものづくりの中核を担う中堅人材、伝統の技を支える熟練人材及び将来を担う若手人材を(今回より)表彰する。また、チームワークが我が国の強みであること

を踏まえ、個人のみならず、グループも受賞の対象とする(企業は対象としない)。

文部科学省では、企業における人材面についての2007年問題や若者のものづくり離れ問題が深刻化する中で、ものづくり人材の育成が喫緊の課題となっていることを踏まえ、今回の表彰から、ものづくりの将来を担う高度な技術・技能を有する青少年のうち、特に優れていると認められる生徒・学生を表彰する「青少年部門」(内閣総理大臣賞)及び、ものづくり人材育成に顕著な功績を修めた学校を表彰する「青少年支援部門」(文部科学大臣賞)を新設し、ものづくりを支える人材の育成の一層の促進を図ることとした。「青少年部門」の表彰対象は、中学生・高校生・高等専門学校生・短大及び大学生・専門学校生である。そのうち、高等学校・中学校クラスとして、在学中にもものづくりに関する成果を挙げたもの(具体的には、各種のものづくりに関するコンテスト等で文部科学大臣賞などを受賞したもの)の中から、特に顕著なもの1名(チーム)を内閣総理大臣表彰するものである。また、青少年支援部門は、中学校及び高等学校(中等教育学校を含む)において、ものづくり人材の育成に向けた特色のある取り組みをしている学校やものづくりに係わる表彰において文部科学大臣賞等の被表彰者や国際大会の上位入賞者を輩出するなど顕著な成果を残している学校(1~2校)を文部科学大臣



選考委員会にて

表彰するものである。

都道府県・政令指定都市教育委員会から推薦された生徒及び学校から、文部科学省に設置した「ものづくり日本大賞青少年部門選考委員会（高等学校・中学校等クラス）及び青少年支援部門選考委員会」での審査を経て、「青少年部門」（高等学校・中学校等クラス）（内閣総理大臣賞）については、静岡県立静岡工業高等学校3年の村松昂紀君を、「青少年支援部門」（文部科学大臣賞）については、香川県立三豊工業高等学校を選出した。

3. 表彰式について

内閣総理大臣賞の表彰式・祝賀会は、8月10日(金)に総理大臣官邸で開催され、「青少年部門」を受賞した静岡県立静岡工業高等学校の村松君に、総理大臣より表彰状及びメダル・盾が手渡された。

その後引き続き行われた祝賀会では、安倍内閣総理大臣、伊吹文部科学大臣（ともに当時）が受賞者に激励の言葉をかけたり、記念写真を撮る場面もあり、受賞者にとって思い出深い会となった。

また、「青少年支援部門」（文部科学大臣賞）

を受賞した香川県三豊工業高等学校に対して、金森初中等教育局長から織田校長へ表彰状及びメダル・盾が手渡された。

第2回ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞 「ものづくりの将来を担う高度な技術・技能（青少年部門）」受賞

静岡県立静岡工業高等学校 村松 昂紀

（受賞概要）

- 昨年度行われた「第6回高校生ものづくりコンテスト全国大会（埼玉大会）」において、2年生でありながら「旋盤作業部門」で優勝を果たし、経済産業大臣賞を受賞。
- 技能検定では、機械加工職種「普通旋盤作業3級」及び仕上げ職種「機械組立仕上げ作業3級」の2種に合格。
- 地域住民からの依頼により、近隣の河川に設置する水門の巻き上げ機の製作に携わり、地域に大きく貢献。

（受賞者の感想）

私は、入学と同時に工作部に入り、旋盤などの「基本技術」の習得に励んできました

た。2年生の昨年、第6回高校生ものづくりコンテスト全国大会旋盤作業部門で優勝し、経済産業大臣賞を受賞しました。また、仲間とともに簡易水門巻き上げ機を製作するなど地域貢献に取り組み、さらに技術向上のため、技能検定にも取り組んできました。

この度、第2回ものづくり日本大賞青少年部門で内閣総理大臣賞を受賞することができました。首相官邸で内閣総理大臣から直接表彰を受けた時には、今までの取組が評価されたと実感し、とても感激しました。

これらのことは、熱心に指導していただいた諸先生や、支えてくれた仲間のおかげと思っています。改めてみんなに感謝します。

将来は、技能五輪に出場し、活躍できるよう頑張るつもりです。

香川県立三豊工業高等学校

(受賞概要)

●機械加工、電子制御、情報技術等各分野の専門的な知識・技術を有する複数の教員が指導グループを構成し、相互の協力・連携を通じて、技術力アップや指導力向上を図っている。

●地域のものづくりセンターを目指して、

地域の子ども達への見学、体験、ものづくり指導等を実施。

●平成17、18年度において、第1回ロボットアメリカンフットボール全国大会優勝、第18回全日本ロボット相撲全国大会ラジコン型優勝など、数々の好成績を収めている

(織田 博 校長 より)

この度、栄えある「ものづくり日本大賞文部科学大臣賞」を受賞したことに教職員一同大変大きな喜びを感じています。

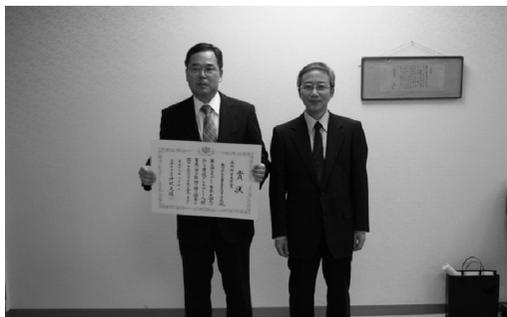
本校では、専門的な知識・技術を有する複数の教員が連携して、メカトロ部におけるロボットの製作活動や各学科での課題研究を中心としたものづくり、地域の子供たちへのものづくり指導など、全校を挙げて「ものづくり教育」に取り組んでいます。そうした中、各種ロボット競技大会で13回もの全国優勝をするなど大きな成果を上げることができました。

このような本校の取組が評価され、全国で唯一の文部科学大臣賞を受賞できたことは、本校の歴史に残る本当に素晴らしいことであり、これからの励みとなるものです。

今後も、「ものづくりをとおして人づくり」を積極的に進め、地域から期待される学校づくりに、教職員全員で取り組んでまいりたいと考えています。



大臣と記念写真 写真提供：(社)日本機械工業連合会



金森初等中等教育局長と記念写真